



第58回こまゆみ祭「十人十色～輝き」

第58回こまゆみ祭が、9月27日(金)・28日(土)に開催されました。

全校制作で一人ひとりがかかったステージバック

1学期より地域、保護者の皆様のご多大なご支援ご協力をいただき、学習を重ねてまいりました。この2日間、緊張しながらも思いきり表現したり、係の仕事に責任をもって取り組んだり、できることを精一杯楽しみ、瞳を輝かせながら活躍する生徒達でした。



地域講師の皆様にご指導いただいたアイリスセミナーの報告や義民太鼓、そして村松西神楽のステージ発表など青木村ならではの発表もやらせていただきました。今まで活動を支えてくださった講師の皆様や保護者・地域の皆様に深く感謝申し上げます。また、多くの地域の皆様に文化祭の当日も様子を見にきていただきました。

本当に、本校の生徒達は地域の方に支えられていると実感いたしました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。これからも、よろしくお願い致します。

こまゆみ祭 思い出アルバム

アイリスセミナーの発表



SAH「バイオエタノール」



各学年の発表



1年生はハケ岳登山について
2年生は職場体験について
3年生は修学旅行について
発表しました。

吹奏楽部の演奏



青春の集いと自由発表



義民太鼓と村松西神楽



MF①合唱発表



展示見学・閉会式



＜沓掛教育長からのミュージックフェスティバルの講評＞
青木中学校のすばらしさは、3年生が、常に目標の存在になっていることです。今年も、3年生の懸命な姿が、感動的な歌声を私たちに届けてくれました。その姿に、1年生が青木中学校のもっている底力を感じ、2年生は、来年の自分たちの目標を明確に示してもらうことで、来年へのイメージが持てます。そうやって、伝統は続いていくのだと思います。3年生の皆さんは、深い意味があって、また、とっても難しい歌を、ろうろうと見事に歌い上げてくれました。皆さんの熱い心と、繊細な心と、3年生としての誇りがしっかりと伝わってきました。小さな音が美しく響いたこと、また力強さもしっかりと伝わってくる、すばらしい合唱でした。

最後に、全校での「大地讃頌」は、今年も、圧巻でありました。皆さん一人一人の自信が伝わってきました。体育館中が、震えるような響きに包まれ、その渦の中にいる幸せを感じていました。それぞれの役割を、一人一人の皆さんが、しっかりと果たしたミュージックフェスティバルになったと思います。（一部抜粋）

生徒の企画した体育祭

有志の呼びかけで集まった体育祭実行委員の人たちが準備をすすめてくれた体育祭が、10月16日(水)に行われました。学年対抗ではなく、全学年混ざり4つのグループに分かれて競技を行いました。綱引きやリレー、玉入れや障害物リレーも白熱した試合となりました。最後の台風の目は最後のメンバーがゴールするまで「頑張れー!」とあたたかな応援にあふれた体育祭でした。



10月22日(火)は保健体育科の特別授業があり、車いすバスケのパラメダリストの宮島徹也さんより『「楽しい」をきっかけにいろいろなことに挑戦してもらいたい』というメッセージをいただきました。

秋の読書旬間がありました。



Halloweenversion の
図書館

読書旬間中はブックトークやおすすめ本紹介がありました。また昨年引き続き「朗読の会」も行われました。朝読書の時間に体育館で遠山弘子さんによる「雨ニモマケズ」の朗読を聞きました。生徒にとってますます本への興味がわく旬間となりました。



★AT タイムスタート★

AT タイム今年も始まりました。昨年もお世話になった信大の小倉先生が今年も来てくれて、全5回のATタイムの時間を進めてくれます。その小倉先生より今年のATタイムについて「中学生のみなんだからできることがあるはず。青木村の未来のために自分たちができることを探究する時間にしていこう。」という話がありました。どんな時間になるか楽しみです。



校長講話「シンシアちゃんの物語と探究学習の大切さ」

探究学習について考えてみましょう。皆さんがこれから学んでいく中で、何が一番大切だと思いますか？ それは、自分で問題を見つけて、それをどうやって解決していくかを考える力です。たとえば、2015年までは『注意深さ』『誠実さ』『スピード』が重要でしたが、しかし、2050年には、それだけでは足りなくなります。『問題を見つける力』『的確に予測する力』『新しいアイデアを生み出す力』が必要になってきます。なぜなら、未来にはAIや技術の進歩によって、私たちが今予測できないような新しい問題が次々と生まれてくるからです。今後は、周りに言われたことをするだけではなく、自分で考えて行動する力が必要になるのです。今日は、その力をどう育てていくかを一緒に考えていきましょう。

「青い目の人形シンシアちゃんの物語。シンシアちゃんは1927年(昭和2年)、アメリカの子どもたちから日本の子どもたちへの友情の証として贈られました。しかし、その後、第二次世界大戦が始まると、アメリカは日本の敵国になり、シンシアちゃんのような人形は「敵国からの贈り物」とされ、多くが破壊され、隠されてしまいました。実は、戦中・戦後に青木でも、いったん学校からシンシアちゃんはいなくなってしまう。これは想像ですが、ある先生がシンシアちゃんを守るために自宅へかくしておいたのではないかと思います。そのおかげで、戦争が終わった後、彼女は再び私たちの学校に戻ってきました。昭和22年にできた青木中学校は、もともとグラウンドの場所にあったのですが、昭和38年の改築の際、今の場所に移動しました。このときシンシアちゃんのことは誰からも忘れられてしまいます。しかし、それから約20年後の昭和59年に学校の宿直室の屋根裏の奥深く、誰も気づかなかった場所からシンシアちゃんが奇跡的に発見され、現在に至ります。シンシアちゃんは、単なる人形ではありません。彼女は戦争を生き抜き、平和の象徴として、私たちの学校に存在していました。戦争が多くの命や文化、物を破壊した中で、シンシアちゃんが生き残ったことは、私たちに平和の大切さを教えてくれています。戦争中にシンシアちゃんを守ってくれた方も、彼女がただの人形ではなく、友情と平和の象徴であることを信じていたのではないかと思います。だからこそ、シンシアちゃんは『二度と戦争を繰り返してはいけない』という強いメッセージを私たちに送り続けています。皆さんも、このシンシアちゃんを通して、平和の大切さを忘れず、自分たちの未来を作ってほしいと願っています。」

さて、また探究の学習に話を戻します。探究とは具体的にどのようなものか、考えてみましょう。探究の学習では、3つの要素が重要だと思っています。その1つ目は『好奇心をもつこと』です。いろいろなことに興味をもち、挑戦することで、新しい学びが広がります。2つ目は『得意なことを深めること』です。自分が得意だと思えることをさらに掘り下げることで、他の人にはない力が身に付きます。3つ目は『新しいアイデアを考えること』です。ほかの人が考えないような発想をもち、それを形にすることが大切です。この3つを意識して、皆さんも探究的な学びに挑戦してください。誰もやったことがないことに挑戦する勇気が、これからの時代には求められます。ただ言われたことをこなすだけではなく、自分で問題を見つけ、それを解決する力が必要です。

実は、シンシアちゃんの物語を題材に探究学習を行った先輩がいます。平成2年(1990年)に、本校の女子生徒3人が夏休みの自由研究としてシンシアちゃんを題材にした絵本を製作しました。この絵本は、35年間校長室に残されていて、ずっと私は気になっていました。なぜ彼女たちがこのテーマを選び、絵本を作ろうとしたのか、いくつかの謎が残っていますが、私は彼女たちがシンシアちゃんの歴史や平和のメッセージに感動し、その思いを絵本にしたのだと想像しています。彼女たちは、きっと、シンシアちゃんの物語を知り、『この話をどうすれば残すことができるだろう?』と考えたのでしょう。そして、取材力のある人が村の方や青木中に在籍していた先生たちから情報を集め、絵が得意な人がその思いを絵で表現し、文章が得意な人がその思いを言葉にまとめました。彼女たちはシンシアちゃんの物語を深く考え、形にしました。これがまさに探究学習の一つの結果です。先輩たちの取り組みは、皆さんにとっても大いに学ぶべきところがあるのではないのでしょうか。



最後に、皆さんに伝えたいことがあります。それは、自分で疑問をもち、探究することの大切さです。すでに、今年も3年生のある生徒が中心となって体育祭が開催されました。だれも正解を知らない中で、見事に企画してやり抜きました。また、制服検討委員会の皆さんも、現在の制服の課題から、未来の服装を考える取り組みを進めています。これらのプロジェクトも、まさに自分たちの疑問やアイデアから始まった探究です。シンシアちゃんの物語を知った卒業生も、同じように『この話をどうすれば伝えられるだろう?』と考え、自分たちで形にしました。皆さんも同じように、自分が感じた疑問や考えをもとに、新しい学びを生み出すことが、未来を切り開く力になります。

これからのATタイムでは、まずは、自分が興味をもったことについて、どうしてだろう?と思った疑問を深く探ってみましょう。その行動が、皆さん自身の未来を切り開く一歩になるのです。皆さん一人ひとりがもっている好奇心やアイデアを信じて、これからも自分の考えに向き合いながら学びを深めていきましょう。

★国際交流 in World classroom★

10月25日(金)は3Aのみんながオンラインで国際交流を行いました。相手国は「インド」。生徒達は「インドの仲間に日本文化や自分の地域をPRしよう!」ということで、プレゼンを考え、練習して取り組んできました。この2学期より英語の学習に「world classroom」を取り入れて、音読の練習や、プレゼンの練習を繰り返してきました。そして、3年生は国際交流の機会をいただきました。生徒達に国際交流の前にインタビューすると、「うまくなじめることができるかな?緊張しています。」交流後にインタビューすると、「楽しかった!!英語を聞き取るのが難しかった。」いい時間でした。ぜひ来年は1,2年生にも、この機会を作りたいなと思います。



◇◇◇11月の予定◇◇◇

- 1日(金) 校長講話
後期人権教育月間
地域参観日 人権講演会
- 2日(土) ~新人戦(女バレ)
- 3日(日) ~新人戦(男バレ)
- 5日(火) ~8日(金) 教室訪問
- 6日(水) 献立学習
- 7日(木) 避難訓練・防災講座
- 8日(金) 漢字検定・臨時生徒総会
- 13日(水) 漢字道場・学校集金振替日
- 14日(木) 立会演説会・選挙
- 15日(金) 1年 EXILE ダンス講演会
数学検定
- 18日(月) 職員研修のための計画休業
- 20日(水) 3年技能教科期末テスト
- 21日(木) 1, 2年期末テスト、3年第3回総合テスト
- 28日(木) 人権集会 地区生徒会
- 30日(土) 子育てフォーラムあおき2024

地域参観日(11月1日)に

人権講演会を行います

11月1日(金)の午後に地域参観日を行います。今年も、人権学習の様子を参観していただきたいと思っています。また、14:20~体育館で「人権講演会~多様性ってなんだろう~LGBTQの視点から考えてみよう」講師 いしだ ゆずまさん を行います。普段なかなか中学生の様子を見ていただく機会がありません。この機会に中学校へ足を運んでみてください。そして一緒に人権について学習する機会になればうれしいです。なお、当日PTAによる制服等の譲渡会も行われます。

★子育てフォーラムあおき2024が行われます★

11月30日(土)の午前中に文化会館で今年度も行われます。保小中一貫教育で取り組んできたことを掲示したり、発表したり、また講演会をお聞きしたりします。詳しくはチラシをご覧ください。ぜひ足を運び一緒に子育てについて考えませんか。よろしくお願いします。